臨床研究等の情報公開

研究課題名	EVAR の TypeⅡエンドリークに対する予防的分枝塞栓の有用性
研究機関	研究代表者：弘前大学大学院医学研究科　胸部心臓血管外科学講座 村松　凱斗 既存試料・情報の提供のみを行う機関：青森市民病院　心臓血管外科 弘前中央病院　心臓血管外科
研究内容	腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術（EVAR）の重要な合併症にエンドリーク（ステントグラフト外に血流が残存し治療後も大動脈径が拡大するリスクとなる）が存在し、その対策のために予防的分枝塞栓が行われることがあります。予防的分枝塞栓は EVAR に追加して行われる手技であり、手術や透視の長時間化、造影剤の増加がデメリットとなります。一方で将来的に瘤径拡大に寄与するエンドリークは解明されておらず、その解明が今後の治療方針に大きな影響を与え患者様に大きな利益をもたらすと考えます。
実施期間	研究倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日
対象者	2015 年 4 月から 2025 年 12 月までに青森市民病院心臓血管外科で腹部大動脈瘤に対してステントグラフト治療を行われた方
実施方法	上記期間中にステントグラフト治療を行われた方について下記の情報を使用します。 ①年齢、性別、採血データ、既往歴 ②ＣＴ ③手術記録 データは匿名化され、個人を特定できない形にして弘前大学大学院医学研究科胸部心臓血管外科学講座のデータ解析担当者へ送付します。収集された試料・情報は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、弘前大学大学院医学研究科胸部心臓血管外科学講座にて保管します。 本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は特にありません。また、カルテからのデータ収集のみのため不利益も特にありません。
参加撤回の自由	患者個人が特定されるような情報は利用せず、公開も行いません。本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。 患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。その場合でも、診療において不利益となることはありません。 ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

問合せ先	近藤　慎浩（こんどう　のりひろ） 〒030-0821　青森市勝田 1-14-20 青森市民病院 心臓血管外科 TEL：017-734-2171（代表） e-mail：aomoricity.cvs@gmail.com